



東久留米の近代史シリーズ5

武蔵野鉄道東久留米駅 (15)

武蔵野鉄道から西武鉄道へ

武蔵野鉄道から西武鉄道へ

戦時中に軍需貨物輸送や糞尿輸送・食糧増産で協力関係を深めた武蔵野鉄道と西武鉄道は、すでに資本的には一体となっており、新しい農業会社と共に 1945 年（昭和 20 年）9 月 22 日に西武農業鉄道という名称で合併しました。アジア・太平洋戦争が終結した翌月のことです。そして、1946 年（昭和 21 年）11 月 15 日に西武鉄道と改称し現在に至ります。実体的には武蔵野鉄道が旧西武鉄道を合併する形となりますが、名称や社章は旧西武鉄道のものを使用したことになります。こうして東久留米駅も西武鉄道東久留米駅として新出発することになりました。



写真1 東久留米駅舎

昭和30年代撮影・西武鉄道提供

1949年（昭和24年）12月29日に駅舎本屋が新築され（写真1）、数回の改築を経ながら60年にわたって東久留米駅の顔となります。新築当初は、「西武電車 東久留米驛 HIGASHIKURUME STATION」と駅名が表示されているのが特徴的です。駅の字も初めは旧字体の「驛」が使われました（同じ1949年に当用漢字字体表が制定されています）。また、「HIGASHIKURUME STATION」の英語表示が併記されています。ここにも新しい時代の雰囲気が感じられます。

1953年（昭和28年）3月28日、遅れていた田無町駅から東久留米駅までの複線化が実現し、池袋駅から東久留米駅まで待望の複線運転が開始されました。さらに、同年9月には清瀬駅まで複線となり、1960年（昭和35年）には池袋駅～所沢駅間の複線化が32年をかけてようやく完了しました。東久留米駅では島式ホームの西側にある旧本線が下り線、東側の待避線が上り線となりました。単線時代の1950年（昭和25年）4月の上り電車（池袋行き）の一日の本数は39本でしたが、東久留米駅が複線化された1953年（昭和28年）の4月には90本に増加し、所沢駅まで複線運転が開始された1960年（昭和35年）前後には150本程度と、単線時代の3倍以上となりました。西武鉄道の複線化は、戦後の輸送力の増強に大きな役割を果たしました。

東久留米駅複線化と同時の1953年（昭和28年）3月31日にはホームの上屋（屋根）も新設され、雨の日でもホームが快適に使えるようになりました。その後、旅客輸送量の増加に伴い、島式ホームを1959年（昭和34年）5月に池袋方向に32m延伸して6両編成対応となり、さらに、1964年（昭和39年）10月には所沢方向に32m延伸して8両編成にも対応できるようになりました。駅舎本屋も昭和39年から40年に南側部分を増築し、改札へ入る間口が広げられました。ホーム上屋（屋根）も1963年（昭和38年）と1965年（昭和40年）にそれぞれ所沢方面と池袋方面に増築され、東久留米駅は日に日に姿を変えてゆきます。



写真2 東久留米駅の複線運転開始

1953（昭和28年）撮影

1953年（昭和28年）3月に田無町駅～東久留米駅、9月には東久留米駅～清瀬駅間の複線運転が開始されました。



写真3 複線運転の池袋方面行き

1960（昭和35年）田舎巖氏撮影

右側に駅舎本屋。貨車専用側線と上り線をわたって島式ホームに上がります。「練馬 池袋方面 FOR NERIMA IKEBUKURO」の案内板が見えます。西側の側線には貨車が停車しています。



写真4 島式ホームの上屋

1969（昭和44年）田舎巖氏撮影、1953年（昭和28年）3月に島式ホームの上屋（屋根）ができました。この写真はホームが延伸され、上屋も所沢方面に増築された時のものと思われる。



写真5 駅舎本屋増築後

1966（昭和41年）古川武雄氏撮影

駅名の「驛」が「駅」の当用漢字に変更されていますが、英語表記はまだ残っています。改札へ入る部分の間口が倍近くに広がっています

参考文献：名取紀之編『写真で見る西武鉄道100年』ネコ・パブリッシング・2013年、古川武雄『郷土史余話』131・2007年。

写真1 西武鉄道提供・写真2～5 東久留米市郷土資料室所蔵

文責・山崎文（東久留米市文化財保護審議会委員）

第38回 多摩郷土誌フェアに参加しました！！

令和8年1月17日（土）・18日（日）に立川市柴崎学習館にて、第38回多摩郷土誌フェアが開催されました。多摩地域の20市1町が参加し、郷土の歴史や文化財等に関する図書が一堂に集まり、展示販売されました。

東久留米市のブースにも、たくさんの方に立ち寄っていただきました。

人気の東久留米市ライブラリーシリーズを手にする方が多く、中でも「東久留米の古地図」と「地引絵図」のセットで購入されていました。

次回作のライブラリーシリーズが待ち遠しいですね☆彡



東久留米市ブースの様子

無料チラシ配布場所



ちょこっと本をご紹介コーナー

東久留米市歴史ライブラリーシリーズ

1. 東久留米の戦争遺跡
2. 東久留米の古地図
3. 東久留米の学校史
4. 東久留米の近代歴史文書



編集・発行

東久留米市郷土資料室（東久留米市教育委員会生涯学習課文化財係）

203-0033 東京都東久留米市滝山4-3-14 東久留米市わくわく健康プラザ内

電話 042-472-0051 無断転載はしないでください